

その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数5,236人のうち、1,358人の方から自由意見が寄せられました。

いただいた自由意見について、調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の2つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見(194件)

今後できるだけ多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

目的や活用に関すること

- ・ 調査の集計だけに終わらず、県政に反映させて県民が安心して生活できる全国一番の県に近づくよう努力してほしい。
- ・ 過去4回の調査は本当に生かされているのか。
- ・ このようなアンケートは今後行ってほしい。日頃感じた事も、個人の意見として声が届くなら、そして少しでも発展に貢献できるならと思い、回答した。

調査票の内容や構成に関すること

- ・ 「幸福感」の定義は、人それぞれ解釈が異なるのではないか。意識調査をして数値化し、そこから具体的な対策が見つかるのか。
- ・ 若い世代に対する質問が多く、高齢者世代には答えにくかった。
- ・ 質問の内容が理解しにくいものがあり、答えにくかった。実感していないものは答えにくい。
- ・ 選択肢がどれもあてはまらず、無理に回答したものが多数あった。

その他(実施方法、分析、公表など)に関すること

- ・ インターネットによる回答にしても良いのではないか。
- ・ 集計結果はホームページではなく、協力者全員に書面で配付すべきである。
- ・ 調査は年末でない方が良い。
- ・ 住んでいる地域や三重県について考え直す良いきっかけとなった。

(2) 調査以外のことに関する御意見 (延べ 1 , 4 1 5 件)

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民カビジョン」における 15 の政策別、サミット関係、その他に分類した内訳は次のとおりです。

「みえ県民カビジョン」

01. 防災・減災	27 件
02. 命を守る	88 件
03. 共生の福祉社会	112 件
04. 暮らしの安全を守る	62 件
05. 環境を守る	22 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	18 件
07. 学びの充実	82 件
08. 希望がかなう少子化対策の推進	94 件
09. スポーツの推進	11 件
10. 地域の活力の向上	76 件
11. 農林水産業	26 件
12. 強じんて多様な産業	34 件
13. 世界に開かれた三重	47 件
14. 雇用の確保と多様な働き方	98 件
15. 安心と活力を生み出す基盤	134 件

サミット関係 152 件

その他(行政全般・知事に対して等) 332 件

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数(N) および回答率(P)によって決定されます。

標本誤差 $E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$	E : 標本誤差 N : 回答数(人) P : 回答率(%)
--------------------------------------------	--------------------------------------

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,236件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad 1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 2

1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400